

第 148 回 CSR 研究部会議事概要

記

1. 日 時 : 2018 年 6 月 12 日 (火) 18:00~19:30

2. 場 所 : 電力中央研究所大手町地区 734 会議室

3. 出席者 (順不同、敬称略) : 近藤、林、北村、村瀬、長谷川、加藤、平塚、高浦、鈴木、古谷、小島、大島、福田、小松崎、蟻生

4. 主な議事 :

1) 青山学院大学大学院博士課程・近藤成径氏より、「Novo Nordisk 社の Triple Bottom Line (TBL) 経営から何を学か?」をテーマに報告があり、関連する質疑応答、議論を行った。

2) 北村氏より、5 月 25 日 (金)・26 日 (土) に、当部会のメンバーにて、CSR 現地研修として、京都府亀岡市の石田梅岩の生家を訪問し、亀山氏文化資料館の八木めぐみ氏より、「石田梅岩と亀岡」をテーマに講義を受けたとの報告があった (添付資料参照)。また、蟻生より、今回の研修を踏まえ、「石田梅岩に学ぶ「石門心学」の経営」 (仮題) をテーマにした単行本出版を企画しており、この執筆希望があれば、蟻生まで相談してほしいとの連絡があった。

3) 次回部会は、7 月 10 日 (火) 18:00~電力中央研究所大手町地区 734 会議室にて開催する。議題には、日本経営倫理士協会の平塚 直氏から「働き甲斐のある職場づくり~コンプライアンス・CSR 視点からの一考察」をテーマにした報告を予定している。

以上